

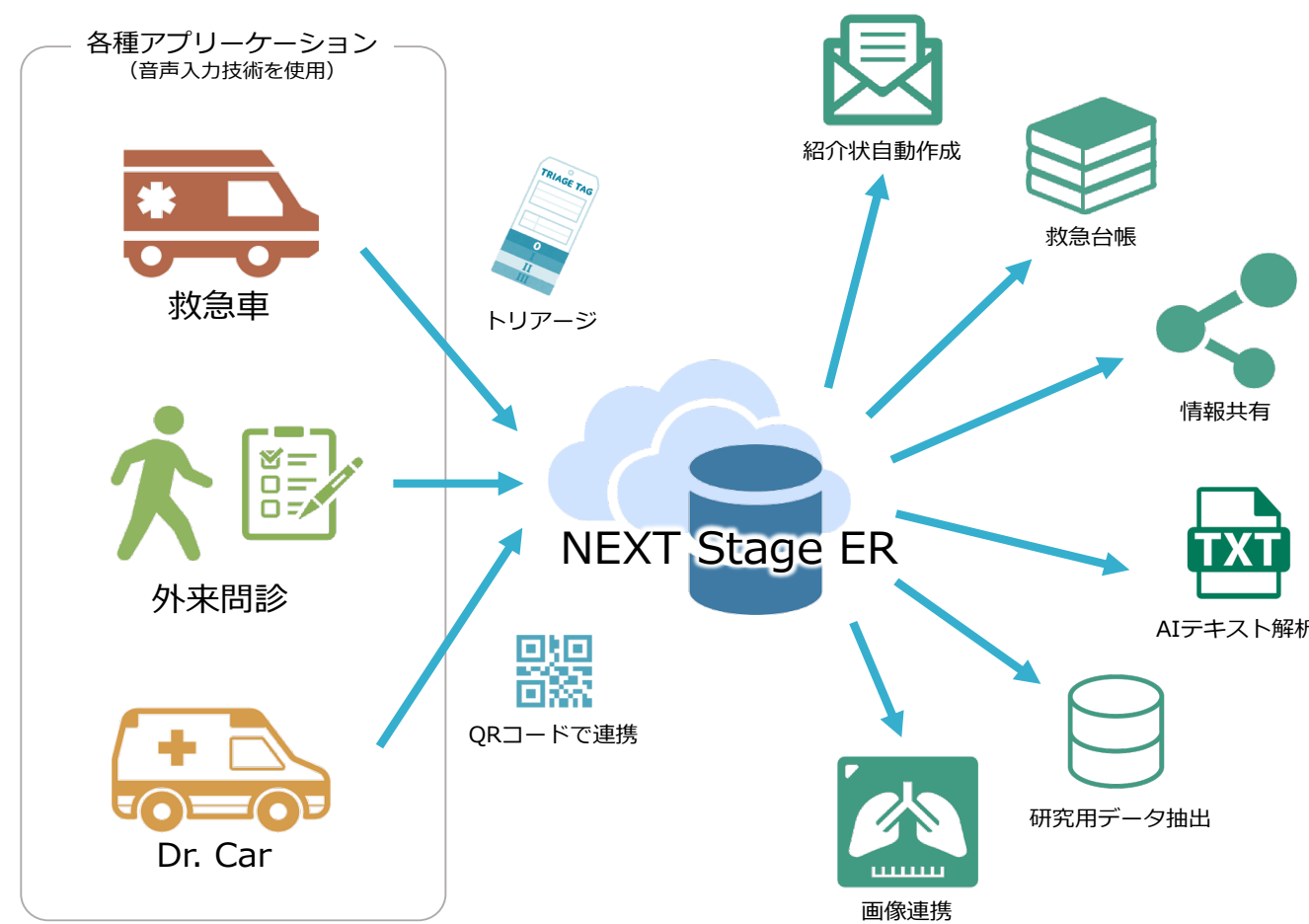
208mm

D'

## — NEXT Stage ER

### システム概要

NEXT Stage ERは、救急外来 (ER) に特化した患者情報記録・管理システムです。多忙な臨床現場における効率的な①患者情報記録、②スタッフ間情報共有、③研究用データ蓄積を同時に実現します。



### 導入実績 (2019年11月現在)

#### 【導入済み】

総合南東北病院  
 日立総合病院  
 土浦協同病院  
 松戸市総合医療センター  
 自治医科大学付属病院  
 済生会宇都宮病院  
 加古川中央市民病院  
 徳島県立中央病院



#### 【導入内定】

札幌東徳洲会病院  
 筑波メディカルセンター病院  
 自治医大附属さいたま医療センター  
 牧田総合病院  
 横須賀共済病院  
 京都第一赤十字病院  
 佐賀大学医学部附属病院  
 麻生飯塚病院  
 米盛病院

210mm

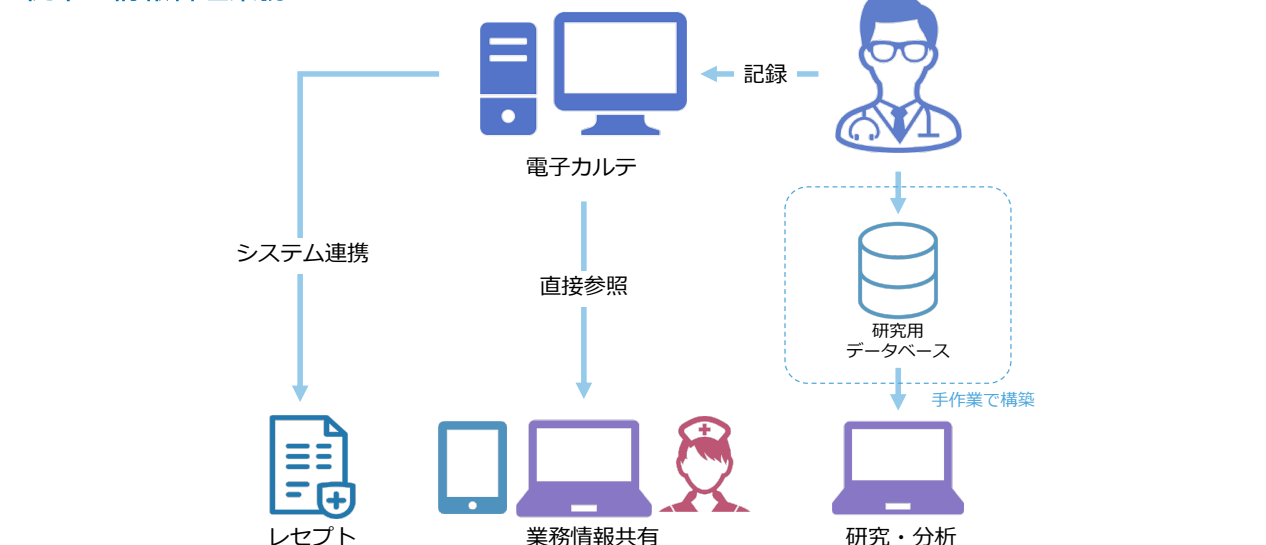
C'

### 導入後の業務イメージ

主要な電子カルテベンダー\*とNEXT Stage ERとの連携事例があり、導入病院に合わせ電子カルテとの連携 (患者受付情報の自動取得など) を行うことが可能です。

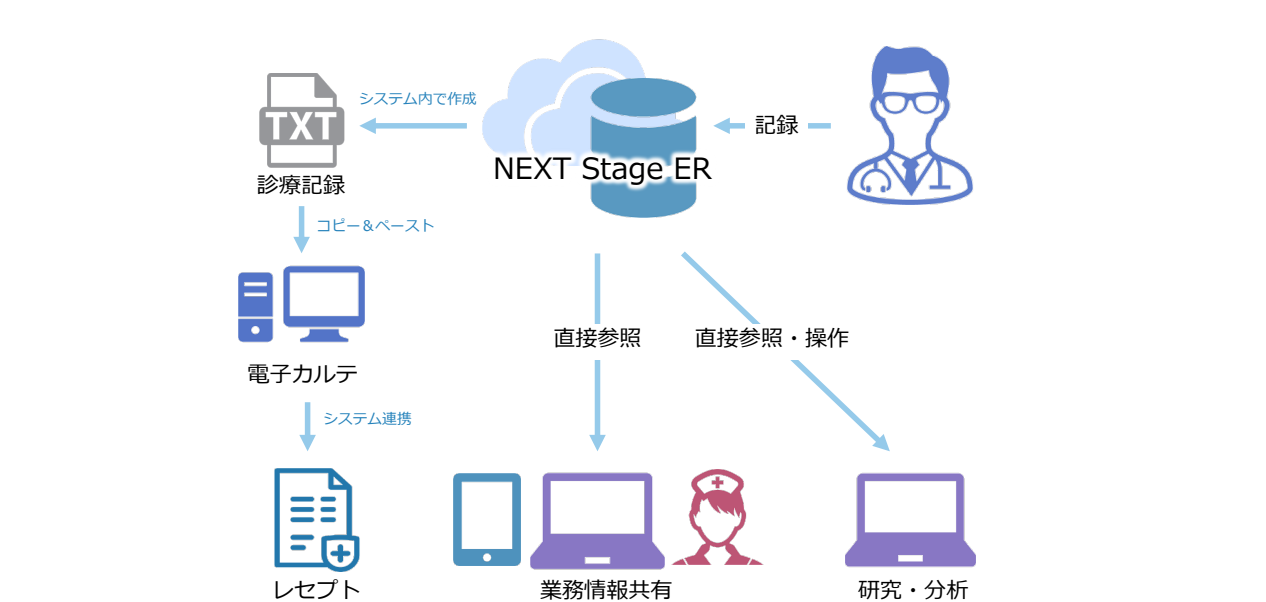
診療記録やデータ蓄積はNEXT Stage ERでほぼ完了します。なお、診療記録を電子カルテに記載する場合は、NEXT Stage ERで作成したテキストデータをコピー&ペーストする必要があります。

#### 従来の情報管理業務



- 本来情報共有を目的としていない電子カルテで業務情報共有を行う (非効率)。もしくは独自に引継ぎ表などの業務情報共有シートを作成する必要がある (二重入力の手間がかかる)。
- 研究用に電子カルテとは別にデータベースを手作業で構築する必要がある (二重入力の手間がかかる)。

#### 本製品を利用した場合の情報管理業務



- 本製品で作成した構造化診療記録を電子カルテにコピー&ペーストすることで電子カルテ上に診療記録を残すことができる。
- 本製品は他職種で患者情報共有をスムーズに行うことを念頭に作成されており、効率的に情報共有が可能となる。
- 本製品を通して通常診療を行うことで研究汎用性の高いデータベースが自動で作成される。

\* 現時点で連携事例のある電子カルテベンダー:富士通、NEC、SSI、IBM  
 \* ベンダー所定の連携費用が必要となります。

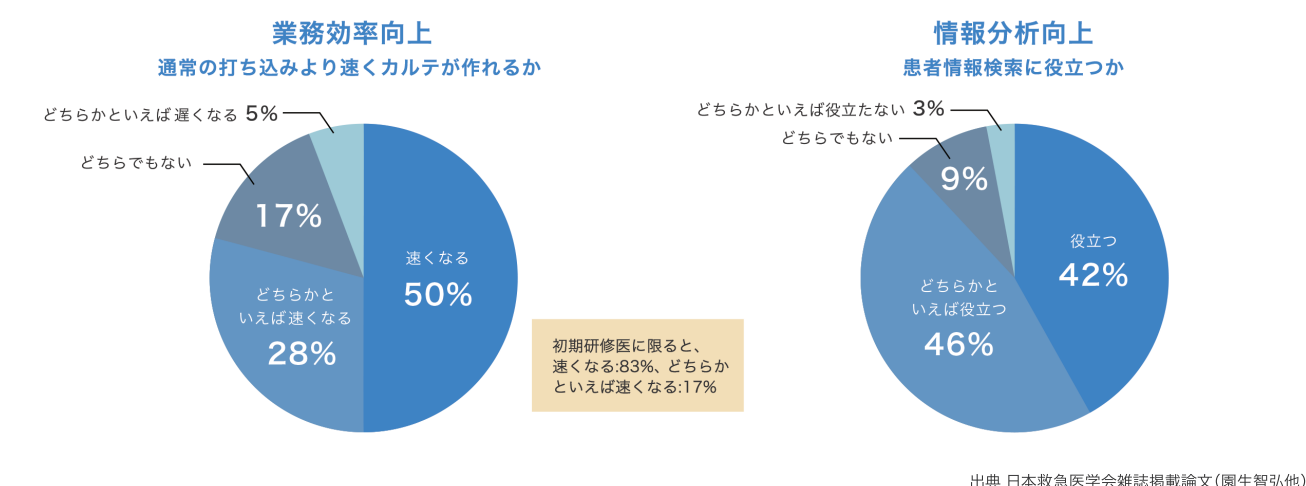
210mm

B'

### 導入による効果

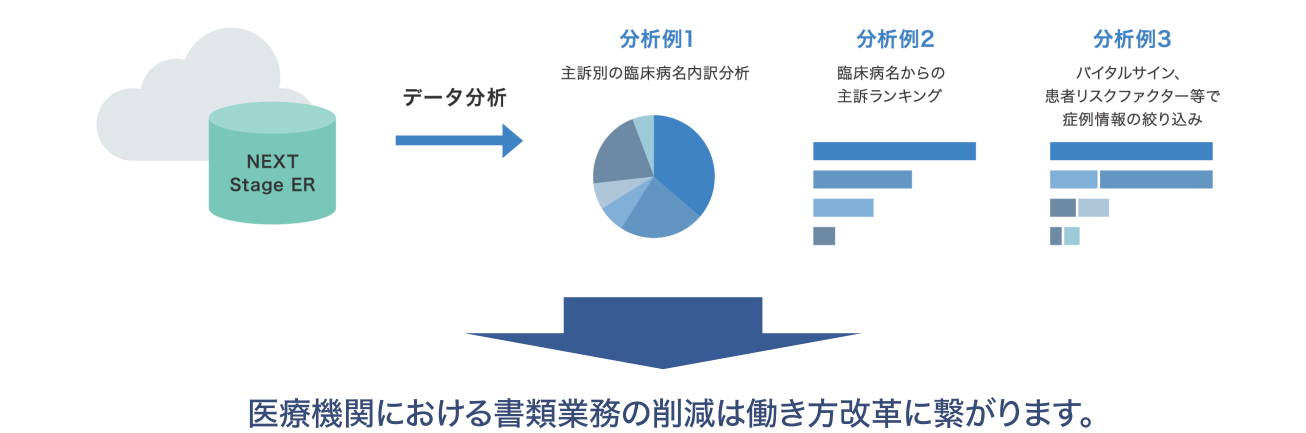
#### 業務効率化

日立総合病院 ER (茨城県救命救急センター、年間救急搬送 6,500 台) では、導入により情報分析効率向上とともに速い記録作成が実現されました。



#### 研究用データ分析効率化

従来のカルテでは不可能である、臨床病名や主訴、あるいはバイタルサインや基礎疾患の情報による網羅的な検索を行うことができます。



医療機関における書類業務の削減は働き方改革に繋がります。

### 導入料金プラン

	院内サーバーパッケージ
利用サーバー	貴院院内サーバー
初期カスタマイズ	¥600,000~
利用料金	¥100,000/月~

- コードをオープンにした契約も可能です。Filemaker エンジニアにて、貴院で独自にフルカスタマイズ可能です。
- 貴院向け UI カスタマイズやデータ解析・臨床研究支援などもご相談下さい。

#### 無料デモ環境

Next Stage ER の無料デモ環境をご用意しています。導入検討にご利用下さい。  
URL: <https://fms1.txpmedical.com/fmi/webd/Next%20Stage%20ER>

208mm

A'

## — TXP Medical のコア技術

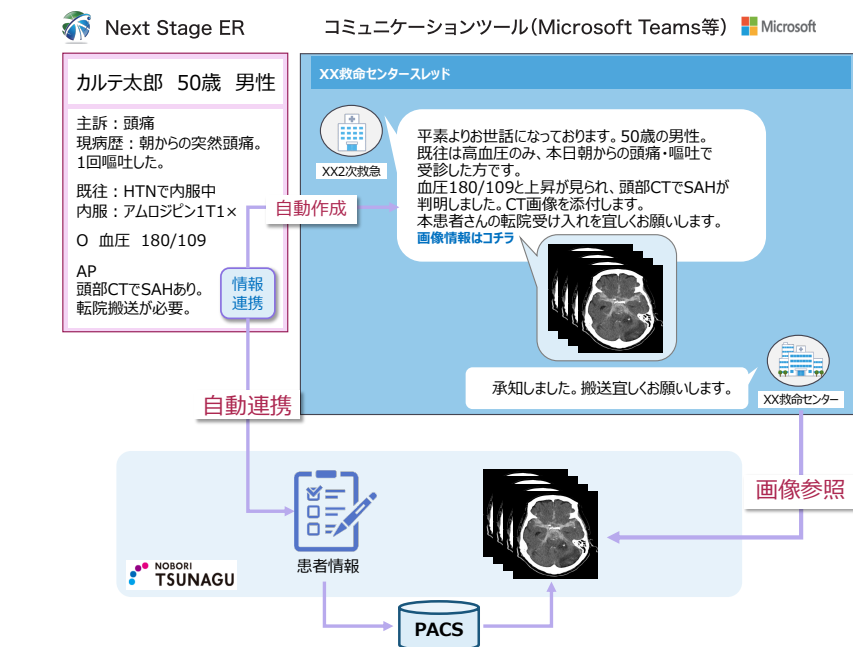
### カルテ自動構造化

データツク株式会社・日本マイクロソフト株式会社・きりんカルテシステム株式会社と共に、カルテ記載の全自動構造化技術の実用化を目指しています。症状・病名などの専門用語の表記揺らぎ辞書は20万以上構築済み。

カルテ記載	DB 保持情報	
S 朝から頭が痛い。鼻水、喉も痛い。 熱 MAX 38 度。下痢嘔吐はなく、食事は取れている。周囲にインフルエンザなし。孫からうつったのかもかもしれない。薬希望。 心筋梗塞でカテーテル治療後。 内服：アスピリン、コレステロールの薬 (スタチン)	標準症状名	有無
	頭痛	+
	鼻汁	+
	咽頭痛	+
	発熱	+
O 元気そう。 胸部硬直なし。 扁桃 np、リンパ節触れない。 Chest clear	標準化既往症名	備考
	急性心筋梗塞	カテーテル治療後
A/P 風邪？ 高齢なのでレントゲンだけ取っておく →肺炎ではなさそう。 処方で経過観察。	標準化常用薬名	薬効分類コード
	バイアスピリン	3399
	スタチン	2189
	標準化診断名	備考
	急性上気道炎	疑い

### 病院間情報連携機能 (紹介状自動作成+画像共有)

NEXT Stage ERに入力した患者情報と画像情報を併せて、ワンボタンで転院搬送先の病院との情報共有やスタッフ間情報共有が可能となります。



### 音声による記録自動化

入力先を指定して情報を振り分ける音声コマンド機能を有しています。



## — 研究支援

その他、研究支援サービスも実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

#### 【研究支援例】

- 研究データクリーニング
- 臨床研究支援データベース構築・多施設研究システム開発
- 電子カルテデータ抽出エンジン開発